

## 2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床工学技士専攻科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	臨床医学総論 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年次		学期及び曜時限	後期	教室名	406
担 当 教 員	新井 篤史 他	実務経験と その関連資格	島根大学医学部附属病院の集中治療室にて勤務経験あり			
《授業科目における学習内容》						
循環器・消化器・代謝・内分泌関連疾患の病態、治療法、予後などを総合的に学ぶ						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験						
《使用教材（教科書）及び参考図書》						
臨床工学技士標準テキスト 第3版増補						
《授業外における学習方法》						
予習・復習を行い各単限の理解度を上げておく						
《履修に当たっての留意点》						
わからないことをそのままにせず、各単限は必ず理解しておく						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外の準備学習 の具体的な内容	
第 1 回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	診断や治療方針などを理解し説明できる	臨床工学技士標 準テキスト 第3 版増補		
		各コマに おける 授業予定	外科学概論 診断・治療			
第 2 回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	手術の基本手技などを理解し説明できる	臨床工学技士標 準テキスト 第3 版増補	前回の復習と次の単限 の予習をしておく	
		各コマに おける 授業予定	外科学概論 手術・基本手技			
第 3 回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	麻酔などの周術期管理を理解し説明できる	臨床工学技士標 準テキスト 第3 版増補	前回の復習と次の単限 の予習をしておく	
		各コマに おける 授業予定	外科学概論 周術期管理(麻酔 輸血)			
第 4 回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	術後合併症について理解し説明できる	臨床工学技士標 準テキスト 第3 版増補	前回の復習と次の単限 の予習をしておく	
		各コマに おける 授業予定	外科学概論 術後合併症			
第 5 回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	外傷について理解し説明できる	臨床工学技士標 準テキスト 第3 版増補	前回の復習と次の単限 の予習をしておく	
		各コマに おける 授業予定	外科学概論 外傷			

授業の方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標 移植について理解し説明できる	臨床工学技士標準テキスト 第3版増補	前回の復習と次の単限の予習をしておく
	各コマにおける授業予定	外科学概論 移植		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標 胸部疾患について理解し治療方法を説明できる	臨床工学技士標準テキスト 第3版増補	前回の復習と次の単限の予習をしておく
	各コマにおける授業予定	胸部疾患		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標 腹部疾患について理解し治療方法を説明できる	臨床工学技士標準テキスト 第3版増補	前回の復習と次の単限の予習をしておく
	各コマにおける授業予定	腹部疾患		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標 ショックについて理解し、治療方法を説明できる	臨床工学技士標準テキスト 第3版増補	前回の復習と次の単限の予習をしておく
	各コマにおける授業予定	ショック		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標 輸液コントロールを理解し治療方法を説明できる	臨床工学技士標準テキスト 第3版増補	前回の復習と次の単限の予習をしておく
	各コマにおける授業予定	輸液コントロール		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標 血糖コントロールを理解し治療方法を説明できる	臨床工学技士標準テキスト 第3版増補	前回の復習と次の単限の予習をしておく
	各コマにおける授業予定	血糖コントロール		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標 降圧剤について理解し治療方法を説明できる	臨床工学技士標準テキスト 第3版増補	前回の復習と次の単限の予習をしておく
	各コマにおける授業予定	降圧剤について		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標 敗血症について理解し治療方法を説明できる	臨床工学技士標準テキスト 第3版増補	前回の復習と次の単限の予習をしておく
	各コマにおける授業予定	敗血症治療		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標 不整脈治療について理解し説明できる	臨床工学技士標準テキスト 第3版増補	前回の復習と次の単限の予習をしておく
	各コマにおける授業予定	不整脈治療		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標 内分泌疾患について理解し説明できる	臨床工学技士標準テキスト 第3版増補	前回の復習と次の単限の予習をしておく
	各コマにおける授業予定	内分泌疾患と治療		